

# 生薬のあざやかさと鋭さ 一味、合方のそれぞれの利点

深 考 § 生 薬

峯 尚志





## 漢方薬の自然な力

### 1 自然からの贈り物

漢方薬は自然界の植物、動物、鉱物から作られています。長い歴史の中で培われた知恵の結晶です。

### 2 全人的なアプローチ

漢方は症状だけではなく、患者さん全体を診る医療です。体質や生活環境も考慮します。

### 3 調和の医学

漢方は体の自然治癒力を高め、バランスを整えることを目指します。穏やかで持続的な効果があります。



## 当院お気に入りのポスター



### 生薬の魅力

一つ一つの生薬に物語があります。それぞれが持つ特性を活かすことで、より効果的な治療が可能になります。



### 調和のとれた処方

複数の生薬を組み合わせることで、相乗効果が生まれます。体全体のバランスを整えます。



### 自然との共生

自然の恵みを活かした漢方医学は、私たちの体と環境の調和を大切にします。

# 漢方薬の製剤形態



## 煎じ薬

生の生薬を煎じて作る伝統的な漢方薬です。香りや味わいを感じながら、薬効成分を十分に抽出できます。



## エキス剤

便利な顆粒状の漢方薬です。持ち運びやすく、忙しい現代人にも使いやすい形態です。



## 使い分け

患者さんの症状や生活スタイルに合わせて、最適な剤形を選ぶことが大切です。

## 調剤すればするほど逆ザヤの生薬治療が今なぜ必要なのか

### 1 患者さんに合わせた個別治療

一人ひとりの体質や症状に合わせた処方が可能

### 2 自然治癒力の活性化

体本来の力を引き出す

### 3 副作用の少なさ

体に優しい治療法

### 4 西洋医学との相補的役割

総合的な医療の実現

経済的には利益が少なくても、患者さんの真の健康を考えると生薬治療の価値は計り知れません。長期的な視点で見ると、患者さんの生活の質向上に貢献します。

# はじめに

## 1 漢方薬の長い歴史

漢方薬は2000年以上の歴史を持つ医療体系です。日本の風土に合わせて発展してきました。

## 2 現代医療での役割

西洋医学だけでは対応しきれない症状に対して、漢方薬は大きな役割を果たしています。

## 3 エキス剤と煎じ薬の共存

便利なエキス剤と伝統的な煎じ薬には、それぞれの特徴と良さがあります。状況に応じて使い分けることが重要です。

# エキス剤と煎じ薬の違い

## 1 エキス剤の特徴

便利で持ち運びやすい顆粒状の漢方薬です。水に溶かすだけで簡単に服用できます。成分が均一化されており、品質が安定しています。

## 2 煎じ薬の特徴

生の生薬を煎じて作る伝統的な漢方薬です。香りや味わいが豊かで、揮発性成分も摂取できます。患者さんの症状に合わせて細かく調整できます。

## 3 選ぶポイント

症状の重さ、治療の緊急性、患者さんのライフスタイルなどを総合的に判断して選びます。時には両方を組み合わせることも効果的です。

# 煎じはめんどくさい

## 1 本当に面倒？

エキス剤に比べて煎じは面倒だし飲みにくいという先入観がありますが、実際はそうではありません。夏の麦茶を煎じるのと同じくらい簡単です。

## 2 便利な道具

とろ火ランランなどの専用の煎じ器を使えば、火のそばについている必要もありません。家事の合間に簡単に準備できます。

## 3 香りの効果

煎じ薬特有の香りには揮発性の有効成分も含まれています。煎じている時間も治療的な時間と考えることができます。



# 煎じはおいしい

## 深い味わい

エキス剤と同じ処方でも煎じ薬は味の深みが全く異なります

## 香りの効果

揮発性成分がしっかり残り、香りの薬効も十分に味わえます

## 届く感覚

体の細胞の隅々まで届いていくような感じがします

## 五臓六腑にしみわたる

これが煎じ薬の最大の魅力です

# 無限の合方、加減がある

1

## 自由な調整

煎じ薬では、それぞれの生薬の量を自由に決められます。患者さんの症状に合わせて細かく調整できます。

2

## オリジナル処方

患者さんごとにオリジナルの処方を作成できます。まるで患者さんごとに曲を作るような感覚です。

3

## 季節対応

時にシンプルに、時に複雑に、季節ごとに合った生薬を選ぶことができます。

4

## 医食同源

煎じ薬は料理の世界と深い親和性を持っています。食と薬の境界を超えた健康法です。



# エキス剤のよいところ

## 優れた利便性

エキス剤はパック包装でいつでも、どこでも飲むことができます。忙しい現代人のライフスタイルに適しています。

## 成分の均一化

栽培指導や適切な検品、選別などにより品質が安定しています。ロットによる効き目の違いを感じにくくなりました。

## 長期保存

包装がしっかりしていて、湿気でかたまることもありません。常に携帯可能で、旅行や出張にも便利です。

## 手軽さ

水またはお湯に溶かすだけで簡単に服用できます。忙しい日常生活の中でも継続しやすい形態です。

# どんな時に煎じを使うのかエキス剤と煎じの使い分け

## 難治症例

エキス剤では治しきれない（難しい）症例には、より細かく調整できる煎じ薬が有効です。

## オーダーメイド希望

個別の体質や症状に合わせたオーダーメイドの治療を望む人には煎じ薬が最適です。

## 賦形剤不適合

エキス剤の賦形剤（乳糖など）が合わない人には、純粋な生薬から作る煎じ薬が適しています。

## 技術向上

生薬を使うことで、エキス剤の使い方もうまくなります。漢方の理解が深まる効果もあります。



# 生薬治療の魅力

## 一味一味の個性

それぞれの生薬には固有の特性と魅力があります。その個性を理解することが治療の第一歩です。

## 経験の蓄積

実際の治療経験を積み重ねることで、より深い生薬の理解と活用法を習得できます。

## 組み合わせの妙

生薬同士の相互作用を理解し、最適な組み合わせを見つけることで効果が高まります。

## 患者さんとの共有

生薬の知識を患者さんと共有することで、治療への理解と協力が深まります。



## 一味の生薬のあざやかさ



単味の生薬には、それぞれ独自の特性と効能があります。一つ一つの生薬を深く理解し、その個性を最大限に活かすことで、より効果的な治療が可能になります。

# 一味の生薬の利点

## 1 強力な薬効

一味だけでも処方に匹敵する薬効を持つことがあります。シンプルながらも強力な効果を発揮します。

## 2 経済的負担の軽減

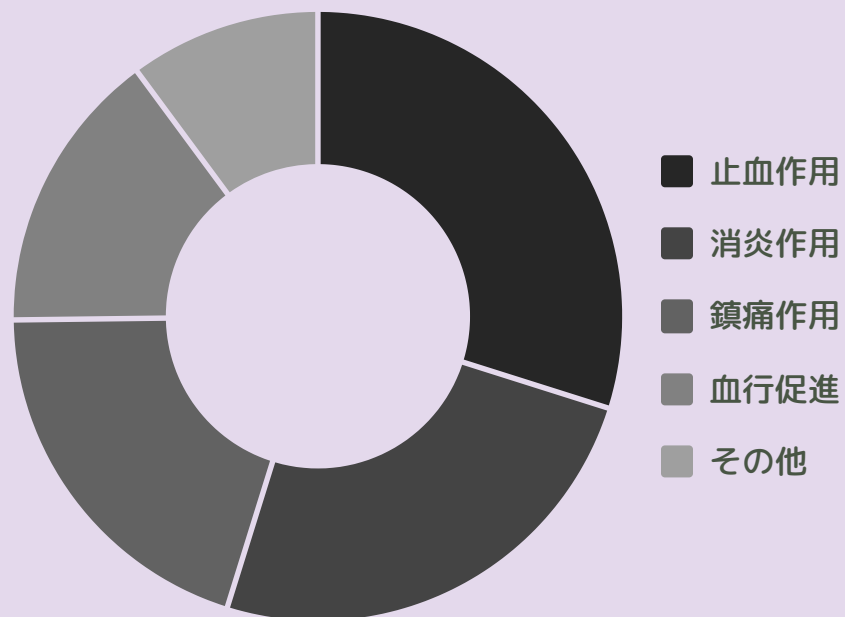
自費診療になりますが、一味だけのため患者さんの経済的負担が少なくて済みます。

## 3 明確なフィードバック

単剤で自費のため、効果の有無を患者さんがはっきりと教えてくれます。治療効果の判定が容易です。



## 田七粗粉末



田七（三七人參）は特に外傷や打撲、捻挫などに優れた効果を発揮します。  
止血作用と消炎作用が特に強く、早期に使用することで効果が高まります。

# 捻挫が1日で改善した

## 1 事故発生

母が妹の結婚式のために大阪へ来阪。家の前の道で足首をくじいて転倒しました。右足首がみるみる腫れ上がりました。

## 2 田七粗粉末投与

結婚式に出席できないと嘆く母に、ダメもとで田七粗粉末約15gを数回に分けて飲ませました。

## 3 劇的な回復

翌日、腫れが完全に引いて、無事に妹の結婚式に出席することができました。田七の即効性を実感した症例です。





## ピッチャーで4番の高校2年生

### 患者情報

夏の大会を前に猛練習中の高校2年生。

身長186cm、体重79kgのピッチャーで4番打者の大型選手です。

### 怪我の状況

練習中に右足首を捻挫して腫れ上がっている状態でした。

大会前の重要な時期での怪我でした。

### 田七処方

田七6g分2を5日間処方しました。

自然な形で体の回復力を高める治療を選択しました。

### 劇的な効果

2週間後、家族が報告に来院。

劇的な効果があったとのことで、今度は肩甲骨捻挫に同じ薬を希望されました。

## 交通事故による頸椎捻挫

### 患者情報

73歳女性。停車中に後方からノンブレーキで追突される事故に遭いました。  
頸部の痛みと頭痛、右手の軽いしびれがありました。

### 初期治療

頸椎捻挫の診断でシップと痛み止めを処方されましたが、頭痛と後頭部の重い感じがとれませんでした。

### 田七処方

田七粗粉末6gを5日分処方しました。  
自然な形で炎症を抑え、回復を促進することを目指しました。

### 劇的改善

服用翌日に後頭部の重さが劇的に改善。  
効果に驚いた患者さんは更に5日分の処方を求めて来院されました。



## O-157と田七

1

### 発症

15年前、三男（7歳）が明け方に腹痛を訴えて起きました。便に血が混じっていました。前日に家族で焼き肉を食べていたため、O-157を疑いました。

2

### 病院搬送

腹部エコーで右下腹部に異常所見を認め、当直の小児科医は腸重積を疑いました。念のため便培養も行いました。

3

### 初期治療

高圧浣腸を行いましたが無効で、痛みが増すだけでした。その後O-157感染が判明しました。

4

### 田七投与

3日たっても腹痛が改善せず、大黃甘草湯の注腸を準備。その前に田七3gを服用させました。

5

### 劇的回復

田七服用後すぐに「痛くない、パパ治った」と言って出てきました。それまで曲がっていた腰がまっすぐに伸び、その後痛みなく回復しました。



## 田七について

|       |                                                                                                     |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 基原    | ウコギ科の植物、人參三七の根原植物：人參三七 <i>Panax pseudo-ginseng</i> Wall. <i>var.notoginseng</i> (Burkill) Hoo&Tseng |
| 性味    | 甘・微苦、温                                                                                              |
| 薬効    | 止血する、瘀血を散らす、腫れを消す、痛みを鎮める                                                                            |
| 用法・用量 | 1.5～3錢を煎じて服用する。または、0.5～1錢を粉末にして服用する。                                                                |
| 異名    | 金不換                                                                                                 |

# 急性の病気で飲むとき

## 早期投与

受傷後できるだけ早期に飲むことが重要です。時間が経つほど効果が減少します。

## 適切な量

大人量で田七粗粉末6g（一日量）を服用することが大切です。

## 分割服用

一日の服用回数を2～3回に分けると効果的です。

## 継続期間

症状に応じて3～5日間の継続服用が望ましいです。





## 板藍根エキス



### 抗ウイルス作用

板藍根は強力な抗ウイルス作用を持ち、風邪やインフルエンザの初期症状に効果的です。



### 抗炎症作用

喉の痛みや炎症を和らげる効果があります。初期の炎症に対して速やかに作用します。



### 解熱作用

体内の熱を冷まし、発熱を和らげる効果があります。自然な形で体温を調整します。



### 免疫調整

免疫システムを調整し、体の防御機能を高める効果があります。予防にも役立ちます。

# 板藍根について

**基原** アブラナ科のホソバタイセイ *Isatis tinctoria* L.とタイセイ *Isatis indigotica* Fort.の根。またはキツネノマゴ科のリュウキュウアイ *Baphicacanthus cusia* (Nees) Brem.の根茎および根

**性味** 苦、寒

**薬効** 清熱する、解毒する、血を涼める

**用法・用量** 0.5～1両を煎じて服用する



# 女貞子エキス、末

## 肝腎強化

肝臓と腎臓の機能を高め、全身の活力を向上させます

## 抗酸化作用

体内の酸化ストレスを軽減し、若々しさを保ちます

## 更年期症状緩和

ホルモンバランスを整え、のぼせや疲れを軽減します

## 免疫調整

適切な免疫反応を促し、体の防御力を高めます

## 視力保護

目の健康を維持し、視力低下を予防する効果があります



## 女貞子について

|       |                                                          |
|-------|----------------------------------------------------------|
| 基原    | モクセイ科トウネズミモチの果実原植物：トウネズミモチ <i>Ligustrum lucidum</i> Ait. |
| 性味    | 苦甘、平                                                     |
| 薬効    | 肝腎を補う、腰や膝を強める                                            |
| 用法・用量 | 1.5～3銭を煎じて服用する                                           |



## 女貞子のすぐれた効果

### 更年期症状の改善

女貞子は更年期高血圧に用いられる二至丸という処方の構成生薬です。のぼせなどの更年期症状を緩和します。

### エネルギー向上

「元気になった」「疲れにくくなった」という報告が多く、精を補うような働きがあることが臨床的に確認されています。

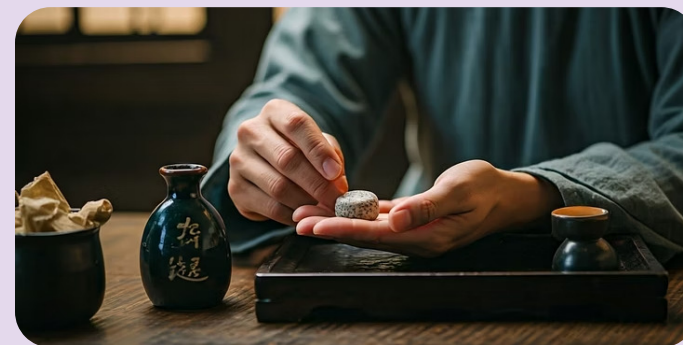
### 処方の応用

逍遙散に加減して使うことで、更年期症状に対する効果を高めることができます。相乗効果が期待できます。

### 中長期的効果

継続的に服用することで、徐々に体質改善が進み、全身の活力が高まります。自然な形で健康増進が期待できます。

## 青黛



青黛は中国伝統医学で古くから用いられてきた生薬です。独特の青色が特徴で、主に炎症性疾患や皮膚疾患の治療に用いられてきました。近年では潰瘍性大腸炎への効果も注目されています。



## 青黛について

|       |                             |
|-------|-----------------------------|
| 基原    | 板藍根植物の葉中の乾燥色素               |
| 性味    | 鹹、寒                         |
| 薬効    | 清熱する、血を涼める、解毒する             |
| 用法・用量 | 5～8分を煎じて服用する、また丸剤、散剤としても用いる |

# 植物由来製品による健康被害（疑い）について

## 厚生労働省からの注意喚起

平成28年12月27日、厚生労働省より青黛摂取に関する注意喚起が出されました。潰瘍性大腸炎患者における肺動脈性肺高血圧症の発症例が報告されています。

## 青黛の一般的用途

青黛は中国では生薬として、日本では染料（藍）や健康食品として使用されています。近年は潰瘍性大腸炎への効果が期待されています。

## 注意点

青黛の摂取により肺動脈性肺高血圧症が生じる可能性があります。自己判断での使用は避け、必ず医師に相談してください。

# 青黛の適正使用について

## 医師の指導の重要性

青黛をはじめとする漢方薬は医師の指導のもとで使用することが重要です。自己判断での使用は避けましょう。

## 適切な用量の遵守

処方された用量を守ることが安全な使用につながります。「多ければ良い」という考えは危険です。

## 副作用のモニタリング

使用中は定期的に健康状態をチェックし、異常を感じたらすぐに医師に相談することが大切です。

## 個々の体質に合わせた使用

同じ生薬でも、個人の体質によって反応が異なります。医師と相談しながら最適な使用法を見つけましょう。

# 白殭蚕末



## 特徴と成分

白殭蚕は、カイコガ科のカイコの幼虫が白殭菌に感染して強直死したものを乾燥させた生薬です。独特の外観と強力な薬効を持っています。



## 主な効能

風を去り痙を解く作用があり、けいれんや痙攣を抑える効果があります。また、痰を化し結を散らす効果もあり、しこりを解消します。



## 現代での応用

アトピー性皮膚炎や顔面神経麻痺、てんかんなどの症状に効果が期待されています。西洋医学と組み合わせることで、より高い効果を発揮します。



## 白殭蚕について

|       |                                       |
|-------|---------------------------------------|
| 基原    | カイコガ科のカイコの幼虫が白殭菌に感染し強直して死んだものを乾燥させた全虫 |
| 性味    | 辛鹹、平                                  |
| 薬効    | 風を去り瘕を解く、痰を化し結を散らす                    |
| 用法・用量 | 1.5～3銭を煎じて服用する                        |



## 煎じで

### 難治性アトピー性皮膚炎の改善

消風散加減と白殭蚕6gを追加処方したところ、難治性のアトピー性皮膚炎が劇的に改善しました。

### 肌の熱の緩和

肌膚の熱が取れて症状が改善する症例を複数経験しました。白殭蚕の清熱作用が効果的です。

### エキス剤との併用

エキス剤で治療している症例にも白殭蚕末3gを併用することで、治療効果がワンランクアップします。

### 継続的な効果

適切な用量を継続することで、症状の再発を防ぎ、長期的な改善が期待できます。



# 合剤として霊梅散

## 霊芝の効果

免疫調整作用があり、体の防御機能を高めます。抗腫瘍作用も期待できます。

## 他の生薬との相乗効果

藤の木、菱の実、石榴皮、肉豆蔻、ヨクイニンとの組み合わせにより、総合的な健康維持効果が高まります。

## 梅寄生の効果

強壮作用があり、腰や膝の弱りを改善します。血行を促進する効果もあります。

## 日常での活用

健康食品として幅広く使用できるよう調整されています。体質改善と健康維持に役立ちます。

# 霊梅散の調剤について

## 配合生薬

藤の木(W)、菱の実(T)、石榴皮(P)、肉豆蔻(M)、ヨクイニン(C)、霊芝(G)、梅寄生(E)のWTPMCGE処方です。

## 用量目安

医薬品としての販売ではありませんが、目安として3.0g×3回/日、健康維持には1.5g×3回/日です。

## 調剤形態

エキス原料の状態で袋に1キロ入っています。分包の場合は1.5gで分包します。

## 服用方法

100gほどの袋に分けて、患者様にティースプーン1杯というような指示もできます。

# 敬震丹

## 心身のバランス調整

精神的な緊張を和らげ、心身のバランスを整えます

## 気の巡りを改善

体内のエネルギーの流れを促進し、滞りを解消します

## 自律神経の調和

自律神経の乱れを整え、不安や動悸を鎮めます

## 長期的な体質改善

継続服用により、根本的な体質改善が期待できます

敬震丹は伝統的な漢方処方で、主に精神不安や動悸、不眠などの症状に用いられます。  
現代社会のストレスに起因する様々な不調にも効果が期待できます。